

40 歳以上で初回生殖補助医療を導入した症例における妊娠率および 生産率に関する研究

1. 研究の対象

2022 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日までの期間に、当院において 40 歳以上で初回生殖補助医療 (ART) を導入された方

2. 研究目的・方法

近年、40 歳以上で不妊治療を開始される方が増えています。一方で、年齢とともに妊娠しにくくなることや、流産率が上昇することが知られています。しかし、実際に 40 歳以上で生殖補助医療（体外受精・顕微授精など）を開始した方の妊娠率や出産に至る割合について、実臨床での詳細なデータは十分ではありません。

本研究では、当院で 40 歳以上で初めて生殖補助医療を開始された方を対象として、治療後の妊娠率や生児獲得率（赤ちゃんを出産できた割合）などについて調査を行います。

研究には、通常診療の中で得られた診療情報（年齢、治療内容、採卵数、妊娠率など）を使用します。本研究のために新たな検査や治療を追加で行うことはありません。

また、個人が特定されないよう十分に配慮したうえで解析を行います。得られた結果は、今後の不妊治療を受ける患者さんへの説明や治療方針の改善に役立てることを目的としています。

研究実施期間：研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026 年 7 月 27 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、身長、体重、BMI、不妊期間、妊娠・分娩歴、不妊原因、血液検査所見 (AMH, LH, FSH, E2, PRL, TSH, FT3, FT4, テストステロン)、卵巣予備能、治療プロトコル、採卵実施の有無、採取卵子数、受精率、胚盤胞到達率、胚移植実施率、妊娠率、妊娠転帰、流産の有無、生産率、等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：坂口 太一

所属：国立秋田大学大学院医学系研究科産婦人科学講座

住所：秋田県秋田市本道一丁目1番1号

連絡先電話番号: 018-884-6163(平日 9 時～17 時)

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 宮腰 尚久